

No. 1644

# 祖国統一へ「 코리아 」活躍

—— 世界卓球選手権 ——

第41回世界卓球選手権大会が千葉県の幕張メッセで4月24日から開かれました。

開会式のセレモニーでは振袖姿での卓球のプレーが人気を呼んでいました。

大会には世界から108協会が参加。名誉会長の秋篠宮殿下のお言葉のあと、ゲームが開始されました。

今大会の一番の話題は、北朝鮮と韓国の統一チーム「 코리아 」の参加。南北統一チームでの出場は、分断以来、全スポーツ競技で初めてのこと。会場は在日同胞の応援団がつめかけ、大声援です。

競技では女子団体で中国を破り優勝するなど「 코리아 」の波紋は、民族統一の悲願達成へのスタートとなりそうです。

## 自衛隊初の海外派遣

—— 横須賀 ——

自衛隊初の海外派遣となる「ベルシャ湾掃海派遣部隊」の第一陣の出港地、神奈川県横須賀市の海上自衛隊横須賀基地。

出港を待つばかりの掃海艇さくしま、あわしま各409トンと補給艦ときわ8150トンの三隻。

4月26日、出港を前に朝から見送りの家族が訪れ父や夫との別れを惜しむ姿が、艦上にくりひろげられました。

午前8時、旧海軍も使用した旭日の自衛隊旗に敬礼。

海上には、掃海艇派遣反対の市民グループがゴムボートで掃海艇周辺にまで押しかけ、抗議行動が行われました。

大島副官房長官が「機雷の除去、及びその処理は国際社会において、大きな責任を求められているわが国にとって、有意義なこと」と海部首相のあいさつを代読。

今回の掃海部隊派遣は、湾岸戦争後のわが国の人的な貢献策として打ち出されたもので、実働部隊の海外派遣は自衛隊発足以来初めて。1カ月の航海のあと、ベルシャ湾に入り6月から機雷の掃海作業に入る予定です。

女性隊員から花束をうけたあと、軍艦マーチで乗船開始。

野党側は、今回の派遣は法的根拠のあいまいさや「海外派兵に道を開く」と批判。

今後の自衛隊の憲法解釈や国際貢献策のあり方ともからんで、論議を呼びそうです。